

2011 年度 CTVCーカトリック東京ボランティアセンター 活動報告

1. 2011 年度の動き

2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災を受け、未曾有の大災害による被災者・避難者の支援のため、東京教区から JLMM(日本カトリック信徒宣教者会)事務局や真生会館のボランティアがいち早く仙台教区に入り、協力を始めた。東京教区は JLMM、真生会館とともに支援活動を継続的に行うため、4 月 24 日にカトリック東京ボランティアセンター(CTVC)を開設、フランススコ会の協力を得て、フランススコ会聖ヨゼフ修道院内(東京都港区六本木)に事務局を設置し、被災地ボランティアの募集、派遣、物資支援などを開始した。CTVC 事務局は 8 名のボランティアにより 5 月 6 日に事務局を開設。事務局業務を日替わりで担当した。後に 3 名をパートタイムスタッフとして雇用了。

2011 年 6 月、日本全国のカトリック教会による被災地支援の取り組みの中で、東京教会管区が宮城県南部と福島県全域の支援活動を担当することが決定。それを受け、CTVC では福島県福島市、白河市、南相馬市、福島県から首都圏に避難されている母子の支援、宮城県亶理郡での活動を開始した。被災地域や避難地域で自主的に支援活動を実施しているカトリック松木町教会、カトリック白河教会、カトリック原町教会、カトリック亶理教会や NPO(きらきら星ネット、東京)などのグループと連携し、物資支援の呼びかけや「ボラパック」(数日間のボランティア企画)を通じたボランティア参加などの支援活動を実施した。また東京近郊への福島県の児童の保養避難プログラムの企画準備を行った。さらに被災地全域のベースへの短期・長期ボランティアの募集・選考・オリエンテーション・派遣を行った。

CTVC ニュースを東京教区の全小教区、修道会に発送。月間報告を関係諸団体へ発行した。各種活動報告会、活動説明会、連絡会などを行い、被災地の現状を伝えるとともに協力を呼びかけた。また CTVC 専用のホームページの開設、メーリングリストの作成など、情報の共有を図った。

2011 年 11 月にはカリタスジャパンより活動資金の援助を受けた。また、2012 年 1 月には桜町聖ヨハネ祭 2011 よりワゴン車(10 人乗り)の寄贈を受け、CTVC の活動の拡充を図ることができた。

2. 各地活動

(1) 宮城県亶理郡

7 月のオールジャパン会議および視察で亶理町での支援を検討し始め、現地視察や社協へのボランティア参加を行った。その後、隣接する山元町も支援対象地域とし、「ボラパック」を催行した。山元町では、災害ボランティアセンターの活動に参加。亶理町では、カトリック亶理教会の協力を得て亶理町内の仮設住宅集会所でカフェを開催。公募制のみならず、学校やグループ単位で参加可能なボラパックの企画・調整を行った。

<ボラパック>

ボラパック開催回数: 2 回

ボランティア総数: 16 名

・ 第 1 回ボラパック

日時: 2011 年 10 月 21 日~10 月 23 日

場所: 山元町災害ボランティアセンター活動地(10/22)

ボランティア人数:5名

- ・ **第2回ボラパック(目黒星美学園中学高等学校「せいびっこカフェ」)**

日時:2012年3月23日~3月25日

場所:亘理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所(3/24)

参加者数:約70名

ボランティア人数:11名

<物資支援>

・2011年11月、亘理ふれあいマーケットの抽選会景品として、立川教会に除菌ジェル送付を依頼した。

(2) 福島県福島市

オールジャパン体制のもと、福島での活動を探るため2011年7月22日に、幸田司教、シェガレ神父、芹沢神父、漆原、辻の5名が福島視察を実施。その際、すでに避難所で炊き出しやふれあい茶の湯の活動を行っていた福島県福島市カトリック松木町教会の「愛の支援グループ」との出会いがあった。また、主任司祭イエジ・ヴィドムスキ神父(ドミニコ会)からは松木町教会を活動の拠点とすることを快諾いただき、松木町の活動に東京からボランティアを派遣し、協働することとなった。2011年8月10日、避難所だったあずま総合体育館での「ふれあい茶の湯」に東京から初めてのボランティアを派遣したことから活動を開始、9月からは活動場所を宮代仮設住宅(浪江町からの避難者が居住)に移動。「ボラパック」としてボランティアや炊き出しチームを派遣、温泉ツアーやクリスマス会、お正月、初釜など季節のお祝い事などを中心にイベントを実施。計10回のボラパックを実施した。

<ボラパック>

ボラパック開催回数:10回

ボランティア総数:346名(現地ボラ143名、CTVC203名)

参加者(受益者)総数:328名

- ・ **第1回ボラパック**

日時:2011年9月3日~9月5日

場所:相馬市大野台第2仮設住宅集会所(9/5)

参加者数:約20名

ボランティア人数:現地ボラ16名、CTVCボラ8名

- ・ **第2回ボラパック**

日時:2011年9月30日~10月1日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:約17名

ボランティア人数:現地ボラ30名、CTVCボラ17名

炊き出しチーム:カトリック田園調布教会6名

- ・ **第3回ボラパック**

日時:2011年10月27日~28日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:約26名

ボランティア人数:現地ボラ 13 名、CTVC ボラ 8 名

炊き出しチーム:ヌヴェール愛徳会

・ **第 4 回ボラパック(温泉ツアー)**

① 福島市宮代仮設住宅支援

日時:2011 年 11 月 24 日～27 日

場所:飯坂温泉

参加者数:32 名

ボランティア人数:現地ボラ 5 名、CTVC7 名

② 相馬市大野台第 2 仮設住宅支援

日時:2011 年 11 月 26 日

場所:大野台第 2 仮設住宅集会所

参加者数:約 40 名

ボランティア人数:現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 21 名

・ **第 5 回ボラパック(クリスマス会)**

日時:2011 年 12 月 9 日～11 日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:38 名

ボランティア人数:現地ボラ 20 名、CTVC9 名

炊き出しチーム:カトリック碑文谷教会 23 名

・ **第 6 回ボラパック(お正月を祝う会)**

日時:2012 年 1 月 5 日～6 日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:約 35 名

ボランティア人数:現地ボラ 5 名、CTVC ボラ 8 名

炊き出しチーム:カトリック雪ノ下教会 23 名

・ **第 7 回ボラパック(初釜)**

日時:2012 年 1 月 13 日～14 日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:約 25 名

ボランティア人数:現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 8 名

・ **第 8 回ボラパック**

日時:2012 年 1 月 20 日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:約 35 名

ボランティア人数:現地ボラ 4 名、CTVC2 名

炊き出しチーム:カトリック松原教会+ヌヴェール愛徳会 8 名

・ **第 9 回ボラパック(鍋パーティー)**

日時:2012 年 2 月 23 日～24 日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

参加者数:約 30 名

ボランティア人数:現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 11 名

炊き出しチーム:カトリック麻布教会 14 名

・ **第 10 回ボラパック(ひな祭り)**

日時:2012 年 3 月 2 日~3 日

場所:宮代第一仮設住宅集会所

ボランティア人数: 現地ボラ 20 名、CTVC ボラ 14 名

炊き出しチーム:カトリック雪ノ下教会 16 名

参加者数: 約 30 名

<物資支援>

- ・ 2011 年 11 月、東京教区・横浜教区の小教区、修道会の協力を受け、宮代仮設住宅への冬物衣料支援を行った。
- ・ 2011 年 11 月、仮設住宅の主に独居世帯に向けて、ドアベルの設置支援を行った。
- ・ 2011 年 12 月、仮設住宅集会所へこたつの支援を行った。
- ・ 2011 年 12 月、2012 年のカレンダー支援、ひざ掛けなどの支援を東京教区・小教区の支援により行った。
- ・ 2012 年 1 月、コミュニティ作り支援のため、仮設住宅集会所へカラオケ機材の支援を実施した。

(3) 福島県白河市

2011 年9月17日に猪苗代で行われた仙台教区「福島県の集い」において、白河市の仮設住宅で傾聴ボランティアを始めた「白河・みみずく」の代表者を紹介されたことから連携を開始。(代表者:金澤弘子、事務局長:和知英子)傾聴グループ「白河・みみずく」は、カウンセラーの資格を持つ信徒、さいたま教区湯本ステーションの行う仮設訪問を継続的に行っている信徒を中心とし8月に設立。信徒・非信徒合わせて6名ほどで白河市内の仮設住宅において週1回(火曜日)、各家庭を訪問する傾聴訪問を、また定期的に集会所を利用したイベントも行っている。

CTVCでは、イベントへのボランティア参加(ボラパック)と物資支援という形で 11 月より活動に参加。計 2 回のボラパックと物資支援を行った。

<ボラパック>

2011 年 11 月、12 月の計 2 回実施。

活動内容:白河市内の中田グラウンド仮設住宅で傾聴ボランティアをしているグループ「白河みみずく」の活動に参加。

参加者数:のべ 28 名(男性 5 名+ 女性 23 名)

・ **第1回 白河ボラパック**

日程:2011 年 11 月 12 日(土)~13 日(日)

参加者:10 名 (男性 2 名+ 女性 8 名)

スタッフ:2 名 (ドライバーは参加者の男性 1 名)

活動内容:「白河みみずく」の活動に参加。「寅さん映画上映会」、フリーマーケット(物資支援)

12日(土) 白河教会にて炊き出し準備・仕込み(豚汁)

13日(日) 中田グラウンド仮設住宅にて

昼食配膳と「寅さん映画上映会」、フリーマーケット

宿泊場所:カトリック白河教会、「白河みみずく」事務所、ホテル

・ 第2回 白河クリスマスボラパック

日程:2011年12月20日(火)

参加者:18名(男性3名+女性15名)

スタッフ:3名+帰路のみ1名

活動内容:中田グラウンド仮設で傾聴ボランティアグループ「白河みみずく」の活動に参加。クリスマス会の実施。クリスマスプレゼント(お菓子)の配布。

20日(火) 白河教会に集合後、白河みみずく事務所で準備。

中田グラウンド仮設住宅にて、カンテレ演奏、紙芝居

<物資支援>

「白河みみずく」からの支援要請に基づき、10月7日、26日の2回、東京・横浜の小教区に物資支援のお願いをした。

●送付した物資:・高齢者用コート・防寒用靴下・下着など(麻布教会より)

・厚手セーターなど(成城教会より)

・フリース・靴下など(目黒教会より)

・スウェット上下・ズボン下など(田園調布教会より)

・手編み帽子・冬物下着(聖心会より)

・手編みマフラー・帽子(麻布教会より)

・食器【湯飲み・茶碗など】(田園調布教会より)

・食器【洋皿・グラスなど】(荻窪教会より)

(4) 福島県南相馬市

南相馬市は2006年(H18年)1月1日、原町市、相馬郡小高町と鹿島町が合併してできた、浜通り(沿岸部)に位置する市である。毎年7月に行われる相馬野馬追やサーフィンポイントなどでも有名な地である。

2011年4月22日、福島第一原子力発電所から20km~30km範囲が「緊急時避難準備区域」に指定され、南相馬市の大部分が「警戒区域」、「緊急時避難準備区域」に指定される。

「緊急時避難準備区域」外に位置する南相馬市鹿島区には、地震・津波により家を失った方と原発事故により家に戻ることが出来なくなった方のために仮設住宅が設置された。

2011年9月30日、「緊急時避難準備区域」は解除され、県外、市外へ避難した人々が戻れるように南相馬市原町区に仮設住宅の建設が始まった。また、学校も元の校舎で再開される。

南相馬市原町区にあるカトリック原町教会は福島第一原子力発電所から24.5kmに位置する。2011年7月22日~26日に行った福島市・南相馬市の視察で、カトリック原町教会への支援に関しての要望を尋ねたところ、物資・ボランティアの支援よりも、教会の人と共に祈り、ミサに参加してほしいという申し出があった。それに応え、CTVCは原町教会でのミサへの参加呼び掛けを開始した。あ

わせて、福島市や相馬市でのボランティア活動に南相馬市原町教会訪問と沿岸部の被災地視察のプログラムを加えた。

南相馬市へ入るには、常磐道が通行止めなので、福島市から峠を越えて南相馬市に入るルートを取るようになる。12月クリスマスから3月末まで、降雪による道路交通の困難が予想されることから、ボラパックを一時中止した。しかし、CTVCスタッフによる原町教会訪問は継続。クリスマス、越年、四旬節等の典礼に参加した。また、その間、地元の方々や仮設住宅集会所等を訪問し、支援団体や被災者とのネットワークを構築。さらに、「カリタス原町ベース」設置に向け候補地選定など、今後の活動展開に向け準備を行った。

2011年10月、カトリック原町教会及び相馬市、南相馬市の仮設住宅支援のため、南相馬市原町区に拠点を置き、スタッフを派遣することを検討・決定。2012年2月に池上あけみ・哲也夫妻を現地常駐スタッフとして派遣することになった。

<ミサ・祈り>

福島県内において原発事故被害に加え、津波被害があった南相馬市においては、主に巡礼などの企画をたて実施した。

東日本大震災犠牲者鎮魂ミサ

日程:2011年10月9日(日)

場所:原町教会

参加者数:約100名 CTVCスタッフの参加者:辻、Sr.畠中

南相馬市 3・11 巡礼の日

日程:2012年3月11日(日)

参加者数:45名(東京からの参加者) スタッフ 全員

他に福島市松木町教会及び原町教会からの参加者数名

内容:前日 午後 CTVCスタッフ到着 準備

当日 10時 福島駅集合 専用バスにより10時半出発

(川俣町しゃも弁(おにぎり)の昼食と同町竹屋謹製飴1袋配布)

13時 追悼の祈り(原町区北泉海岸)

14時46分 祈り(カトリック原町教会)

15時 ミサ、

16時 交流会

<ボラパック>

南相馬市におけるボラパックは、福島ボラパックに加え、ミサ・被災地視察を中心に行った。

ボラパック開催回数:4回

第1回福島ボラパック

日程:2011年9月4日(日)~9月5日(月)

場所:カトリック原町教会、相馬市大野台第2仮設住宅集会所

内容:①ミサ(4日14時)に参加 ②「ふれあい茶の湯」

参加者数:①CTVC ボラ 8名 ②約20名(現地ボランティア 16名、CTVC ボラ 8名)

第2回福島ボラパック

日程:2011年10月1日(土)

場所:南相馬市(カトリック原町教会)、南相馬市原町周辺—宮城県山元町

内容:福島市内でのボランティア後南相馬市被災地視察

参加者数:女性15名、男性6名 合計21名

第4回福島ボラパック

日程:2011年11月26日(土)~27日(日)

場所:①相馬市大野台仮設住宅集会所 ②カトリック原町教会

内容:①「ふれあい茶の湯」、被災地視察 ②ミサ

参加者数:①21名、CTVCスタッフ5名、仮設の方の人数:約40名
②7名

第5回福島ボラパック

日程:2011年12月11日(日)

場所:カトリック原町教会

参加人数:約15名

内容:訪問、祈り

<講演会企画>

日程:2012年3月13日(月)

内容:オレクサンドル・スィロタ氏(チェルノブイリ被曝者互助団体「ゼムリヤキ」広報担当)による講演会(支援団体「えんどうまめ」代表:石川悦子主催)

会場:角川原仮設住宅集会所(鹿島区)、寺内第一仮設住宅集会所(鹿島区)

<連携>

個人:星清明氏(元南相馬市職員、市職員退職者によるボランティア団体代表)

佐々木孝氏(作家、ブログ「モノディアロゴス」主幹)

オレクサンドル・スィロタ氏(チェルノブイリ被曝者互助団体「ゼムリヤキ」広報担当)

宮腰吉郎氏(チェルノブイリ取材ジャーナリスト)

その他小高区住民

団体等:南相馬市社会福祉協議会・鹿島区福祉サービスセンター

日本基督教団原町教会

やっぺ南相馬(真ごころカフェ)

福幸(復興)商店街(南相馬市鹿島区、元小高地区商店主)
平和を願う草の根グループえんどうまめ(代表:石川悦子)
仮設住宅:寺内第一仮設住宅、牛河内第一仮設住宅、角川原仮設住宅

<その他の支援>

手紙送付

カトリック原町教会信徒会長からの依頼により、福島県内外に避難し、原町から離れている信徒に向け手紙発送の代行を行った。

日程:2011年12月5日(月)

(5) 東京

① 福島避難母子支援

10月に発足した「きらきら星ネット」の活動(主に福島県から避難している母子の支援およびイベント開催)の協力を行った。8月の「夏休み勉強ひろば」では、毎週金曜日をCTVCが担当し、子どもの学習支援・見守り活動を行った。9月からの「チャリティデイ」にはCTVCスタッフがボランティアとして多数参加。2月11日開催の「2.11 チャリティデイ」では、物資支援の呼びかけ、学外ボランティアのコーディネートを行った。

<きらきら星ネットのイベント参加>

2011年8月2日より	夏休み勉強ひろば(聖イグナチオ教会)
2011年8月11日	お楽しみ夏祭り(聖イグナチオ教会)
2011年9月7日	活動報告と今後の支援活動を考える会
2011年9月11日	9.11 チャリティデイ(ニコラ・バレ)
2011年9月27日	都内避難世帯の学習支援・家庭支援活動を行なう緩やかなグループ発足の集い
2011年10月15日	鎌倉・江の島遠足
2011年12月4日	クリスマス&チャリティデイ(ニコラ・バレ)
2012年1月8日	きらきら星ネット準備のためのミーティング
2012年1月22日	第1回つきしまキッズデイ(聖公会・月島聖ルカ保育園)
2012年1月31日	バザー用品仕分け作業(ニコラ・バレ)
2012年2月11日	2.11 チャリティデイ(聖心女子大学)
2012年3月10日	講演会「チェルノブイリからのメッセージ」(聖イグナチオ教会)
2012年3月11日	3.11 祈りと交流会(ニコラ・バレ)

<物資支援>

・2012年1月、2.11 チャリティデイのバザー用品の募集を行った。

② 福島の子どもの保養

「リトリートホリデー」はカトリック郡山教会のリゲンザ神父(ドミニコ会)、同じくドミニコ会の渡辺神父と、郡山、関東の信徒により結成。福島県内に在住している子ども達へ屋外で身体を動かし遊べる場の提供、また母親のストレス軽減のため、保養プログラムの企画準備を行った。

2011年9月22日	ミーティング
2011年10月5日	ミーティング(郡山教会)
2011年10月24日	ミーティング(渋谷・ドミニコ会)
2012年2月6日	ミーティング
2012年2月11日・12日	「放射能からいのちを守る全国サミット」に相談ブースを出展

(6) その他の被災地

仙台教区サポートセンターの各地のベース活動支援のため、短期・長期ボランティアを募集し、オリエンテーション、派遣・活動報告会を実施した。

2011年5月27日～6月2日	短期 米川ベース(3名)
2011年6月20日～8月1日	長期 石巻ベース(1名)
2011年7月11日～7月15日	短期 塩釜ベース(1名)
2011年8月13日～8月20日	短期 米川ベース(2名)

3. 広報

2011年6月より活動報告と、より広い活動の周知のため「CTVC ニュース」を隔週で発行。2012年1月からは「かわらばん！」と改名、月1回の発行とした。また、月間レポートを2011年8月より関係諸団体に向けて発行した。

2012年1月より東京教区ニュースにCTVC連載記事を掲載開始した。

4. 報告会・連絡会

東京教区内で支援活動を行っている小教区、修道会、グループの情報共有と連携を深めるため、連絡会を行った。またボランティア報告会や活動説明会を行い、支援活動への協力と活動の周知を図った。

2011年4月28日	CTVC 第1回連絡会
2011年5月19日	ボランティアオリエンテーション(イエズス会神学生グループ)
2011年5月26日	CTVC 活動紹介(目黒教会など宣教協力体)
2011年6月23日	ボランティア活動報告・募集説明会(イエズス会)
2011年7月15日	ボランティア説明会(聖心女子大学)
2011年8月5日	長期ボランティア活動報告(真生会館)
2011年8月13日	CTVC 活動報告(東京教区平和旬間ミサ)
2011年11月18日	CTVC 活動報告(サレジオ学院中学・高等学校)
2011年11月21日	CTVC 第2回連絡会
2012年1月4日	CTVC 活動紹介(東京教区修道女連盟の集い)

- 2012年1月13日 CTVC 活動紹介(聖心女子大学)
 2012年1月25日 CTVC 活動説明会(コイノニア)
 2012年3月17日 CTVC 活動紹介(第3回聖心ぶどうの集い)

5. 会議・スタッフミーティング

(1) 運営委員会

4月24日のCTVC設立に向け、4月18日に設立準備会を実施。5月20日に運営委員会を発足。以降毎月1回、計12回運営委員会を実施した。

(2) スタッフミーティング

CTVC事務局発足後、毎週月曜日にスタッフによるミーティングを行い、活動の報告と今後の活動についての調整、打ち合わせを行った。

(3) 福島ブロック会議

福島県内で活動しているカトリック教会、グループ間で情報共有し連携を深めていくために、2012年2月23日第1回福島ブロック会議をいわき市もみの木ハウスで実施した。

■活動収支報告 2011年度

(2011年4月～2012年3月)

収 入		(単位:千円)
カリタスジャパン援助金		13,423
一般献金・寄付		7,113
	合計	20,536
支 出		(単位:千円)
プロジェクト直接費用		
被災者支援		6,590
原町ベース運営		216
物資支援		0
長期ボランティア派遣		0
アドボカシー		0
連携		0
プロジェクト間接費用		
プロジェクト車両費、事務費(通信費、事務機器、文具、人件費など)		2,490
	合計	9,296